

数学の学習 第7学年 担当：茂田千穂、鈴木俊光

小学校では、数学の基礎となる数の計算の方法を学んできました。中学校から「算数」が「数学」に変わります。「数学」とは、筋道を立てて物事を考え、わかりやすく表現する力を身に付ける教科です。まず、7年生では、数量や図形の基本的な仕組みや性質を学んでいきます。ただ答えを求めるのではなく、どうしてそうなるのかを考えたり、他の方法はないかを考えたりします。他教科とは違い、「理解」すれば「できる」訳ではなく、「理解」して「練習」をして「できる」ようになる教科です。

1 授業の約束

授業の準備

(1) 持ち物 (教科書、ノート、Chromebook、問題集、ファイル) を準備しましょう。

(2) チャイム前着席を守りましょう。

授業中

(3) 粘り強くじっくりと考えましょう。

(4) 友達の意見や友達同士の教え合いを大切にしましょう。

授業後

(5) 家庭学習では授業を振り返り、自力で解けるまで取り組みましょう。

(6) 提出物の期限を守りましょう。

2 授業で大切なこと

「考える・まちがえる・ふりかえる」です。そのために、先生や友達の意見をしっかりと聞き、自分の意見をしっかりと持ちましょう。

3 ノートの作り方、取り方

(1) 暗算でできない場合や指示があった場合は途中の計算を書きましょう。

(2) 答え合わせのときに間違えた問題は、消しゴムで消さないで残しておきましょう。復習やテスト前に確認にして、同じ間違いを繰り返さないようにしましょう。

(3) 授業の終わりに「授業のふりかえり」を書きましょう。

4 家庭学習のよりよい進め方

(1) 毎日最低 10 分は家庭学習をしましょう。特に授業があった日に復習すると効果的です。

(2) 授業で取り組んだ問題、Chromebook(すらら)を自分の力で解けるように何度も取り組みましょう。

(3) 計算問題は解く時間を決めて、早く・正確に解けるようにしましょう。

(4) 文章を読み、自分で式をたてる練習をしましょう。

(5) 文章化されたものを図やグラフ・表に表す練習をしましょう。

5 評価の観点と評定について

数学科では、以下の3つの観点で評価します。評定は、各観点をまとめて評定をつけます。

I 知識・技能

数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。ものごとを数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。

授業の取り組み 定期考査 小テスト 提出物

II 思考・判断・表現

知識及び技能を活用して課題を解決する等のための必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。

授業の取り組み 定期考査 小テスト 深い学びなどのワークシート

III 主体的に学習に取り組む態度

・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている。

・上記の粘り強い取組を行う中で、自ら学習を調整しようとしている。

授業の取り組み 定期考査 提出物 Chromebook(すらら等)の取り組み

ふり返しシート 深い学びなどのワークシート